

事業の実施主体と実施スケジュール

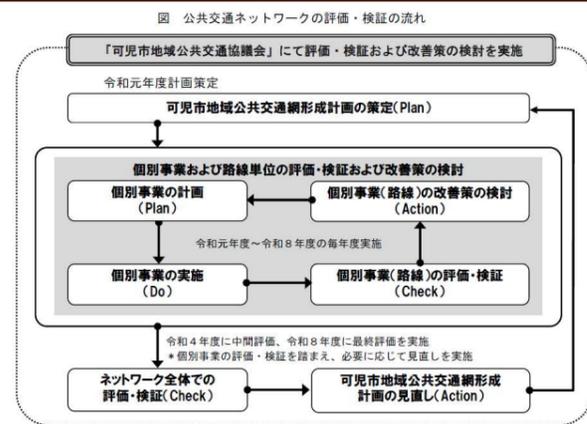
■ 事業準備（検討を含む） ■ 事業実施（継続を含む）

基本方針	実施事業	実施内容	実施予定年度								実施主体
			元	2	3	4	5	6	7	8	
基本方針Ⅰ	①公共交通軸の運行	JR 太多線、高速バスの現行サービスの維持	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者
		名鉄広見線の現行サービスの維持	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者・可児市・御嵩町・八百津町
		さつきバスの現行サービスの維持	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
	②都市内基幹路線の運行	さつきバスの再編①（全路線可児駅・新可児駅を中心とした運行サービスの見直し）	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
		さつきバスの再編②（中心循環線サービスエリア・ルート見直し）	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
		Kバスの再編（観光需要に対応した運行サービスの拡大）	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
	③広域支援路線の運行	東鉄バス（八百津線）の現行サービスの維持	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者・可児市・八百津町
		東鉄バス（緑ヶ丘線・桜ヶ丘ハイパス線）の現行サービスの維持	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者・可児市・多治見市
		YAOバスの現行サービスの維持、関係者間の協議・調整	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・御嵩町・八百津町・交通事業者
	④地域支援路線の運行	東鉄バス（帷子線）の現行サービスの維持	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者
電話で予約バスおよびKタクの現行サービスの維持		■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者	
電話で予約バスの再編（さつきバスの再編および生活圏を考慮したサービスエリアの見直し）		■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者	
⑤交通結節点の整備	可児駅・新可児駅における交通結節点整備	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者	
	店舗や病院を活用したバス待ち環境の整備（憩いや交流の場の創出）	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・主要施設・交通事業者	
基本方針Ⅱ	①利用者目線によるわかりやすい情報の提供	総合公共交通マップの作成	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
		バス停の路線図等案内表示	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者・可児市
		バス停等における多言語表示	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者・可児市
		バスデータのG T F S化	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
		バスロケーションシステムの導入	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
	②運賃割引や利用しやすい支払方法の導入	さつきバス相互、東鉄バス（帷子線）と電話で予約バス（帷子地区）、東鉄バス・YAOバスとKバス・Kタクの乗り継ぎ割引運賃の継続	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
		さつきバスおよび電話で予約バスの回数券販売の継続、さつきバス定期券販売の継続	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
		東鉄バス緑ヶ丘線とさつきバス桜ヶ丘線の運賃格差の是正	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者・多治見市
		一日乗車券の導入	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
		ICカードやQRコード等によるキャッシュレス決済の導入検討	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者 他
③環境や利用者に対応した車両の導入	バリアフリー車両の導入（車両更新時）	■	■	■	■	■	■	■	■	交通事業者・可児市	
	ユニバーサルデザインタクシー車両の導入継続	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者	
④バス情報の周知・広報の多様化	バス情報の発信①（市広報等でのバス交通の現状やモデルルート等）	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者	
	バス情報の発信②（ケーブルテレビやコミュニティFMでのバス利用促進）	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者・地域企業等	
	各種講演会・会議等案内への公共交通アクセス方法の記載 市職員のノーカーデーにおける公共交通利用の呼びかけ	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者・地域企業等 可児市	
基本方針Ⅲ	①地域住民による各種活動の実施	地域住民によるバス待ち環境の整備	■	■	■	■	■	■	■	■	住民・地域団体・可児市・交通事業者
		バス停周辺における清掃・緑化等の実施	■	■	■	■	■	■	■	■	住民・地域団体
		地域の移動を支える取り組みの実施（互助による輸送）	■	■	■	■	■	■	■	■	住民・地域団体・関係団体・可児市・交通事業者
	②バス乗車機会の創出	乗り方教室や出前講座等による地域住民自らが公共交通について学ぶ機会の創出	■	■	■	■	■	■	■	■	住民・地域団体・可児市・交通事業者
		さつきバス無料デーや運転免許自主返納者への回数券配布等によるバス試乗機会の創出	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・交通事業者
	③関係機関との連携による公共交通利用促進	市内イベント時における公共交通の利用促進キャンペーン	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・関係団体・交通事業者
		企画切符の導入 バス停における観光案内や広告の提示 名鉄広見線活性化施策（可児市関連分継続事業）	■	■	■	■	■	■	■	■	可児市・関係団体・交通事業者 可児市・沿線企業・施設・交通事業者 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会
④市民等の輸送を担う人材の確保	将来の担い手確保に向けた若年層運転手への就職PR	■	■	■	■	■	■	■	■	地域公共交通協議会	
	女性運転手への就職PR	■	■	■	■	■	■	■	■	地域公共交通協議会	
評価及び推進体制	地域公共交通協議会（各種事業実施、評価・改善、協議会開催等）	■	■	■	■	■	■	■	■	地域公共交通協議会	

6. 計画の達成状況の評価に関する事項

可児市地域公共交通網形成計画は、計画の策定（P）、事業の実施（D）、評価・検証（C）、改善策の検討・計画の見直し（A）といったPDCAサイクルを毎年繰り返し実施することで効果的な事業の推進を図ります。

また、計画に基づき実施した事業の効果や影響を総合的に捉え、計画目標の達成状況の評価・検証することで、計画期間最終年度に可児市地域公共交通網形成計画の見直しを実施します。



可児市地域公共交通網形成計画 概要版

令和元年7月 可児市

1. 可児市における地域公共交通の主な課題

- ① 個別路線の利用特性や各種ニーズに対応した運行サービス・形態の確保・維持・改善
- ② 可児駅・新可児駅、西可児駅を中心とした公共交通ネットワークの構築と交通結節点の充実
- ③ 公共交通の利用のしやすさ、わかりやすさを高める各種利用促進施策の展開

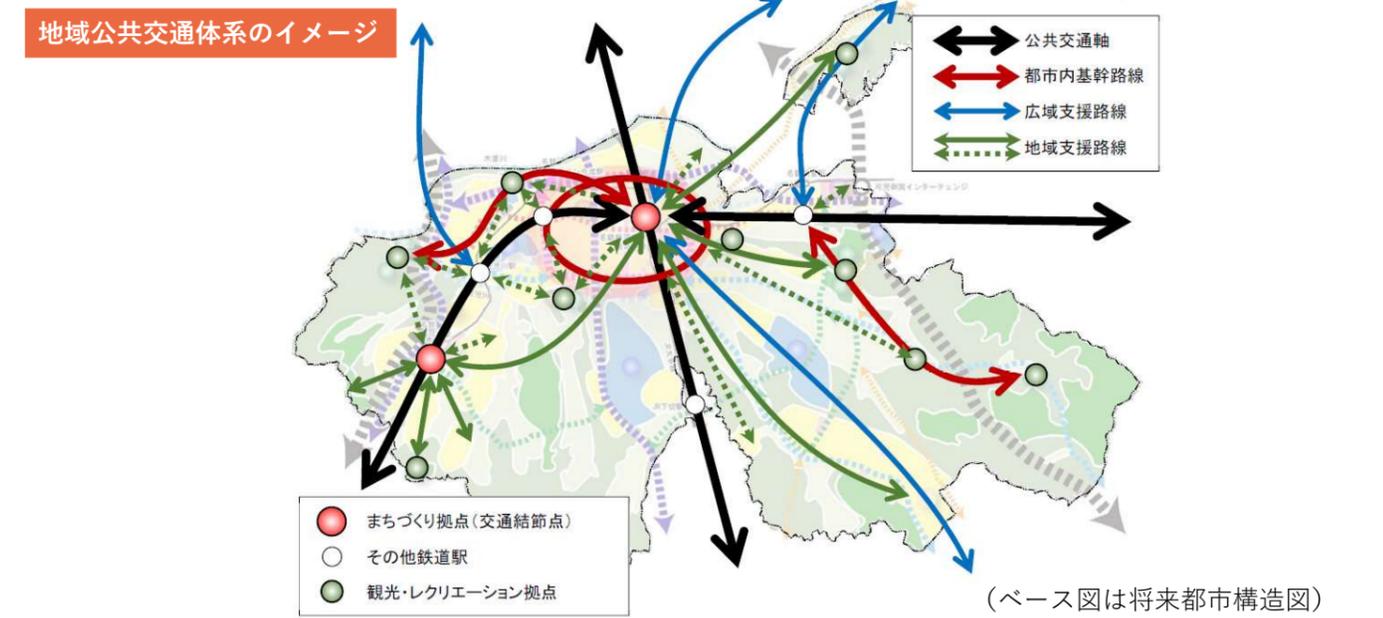
2. 持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針

交通将来像

また来たい ずっと住みたい まちの魅力を支える公共交通

3つの基本方針

- 基本方針Ⅰ** 可児駅・新可児駅、西可児駅を中心とした公共交通ネットワークの維持を基本としつつ、高齢者の日常生活や若者の通学を支える、まちづくりや観光振興と連携した公共交通サービスの提供
- 基本方針Ⅱ** 地区住民が日常生活の中で安心して利用でき、来訪者にもわかりやすい公共交通利用環境の充実
- 基本方針Ⅲ** 可児市の公共交通に関わる全ての関係者が連携・協働し、公共交通を支え育む取り組みの推進



3. 計画の区域と計画期間

計画の区域 **可児市全域**

※ 隣接市町との公共交通相互の連携等にあたっては、個別に協議・調整を図ります。

計画期間 **令和元年度～令和8年度**までの**8**か年

※ 計画期間内であっても、必要に応じて適切な時期に計画を見直します。

4. 計画の目標

全体目標

「また来たい ずっと住みたい まちの魅力を支える公共交通」の実現

目標値 **公共交通全体の利用者数の維持・増加**

目標とする指標		目標値[令和8年]	現状値[平成29年]
公共交通全体		4,547,230 人/年	4,531,219 人/年
J R 太多線		753,000 人/年	751,428 人/年
名鉄広見線		2,814,150 人/年	2,811,230 人/年
高速バス		237,980 人/年	237,560 人/年
路線バス		520,130 人/年	518,058 人/年
コミュニティバス	Y A Oバス	83,690 人/年	78,894 人/年
	さつきバス	53,910 人/年	51,781 人/年
	Kバス	1,680 人/年	1,396 人/年
	電話で予約バス	29,010 人/年	27,586 人/年
	Kタク	1,120 人/年	964 人/年
一般タクシー		52,560 人/年	52,322 人/年

* 各路線利用者数は乗車人員、名鉄広見線利用者は平成28年乗車人員を引用、Kバス・Kタク利用者は(6か月データより換算)、一般タクシーは可児駅・新可児駅および西可児駅での乗込み件数に乗車人数1.0で算定、目標値は現状値に利用機会の増加分(バスサービスハンドブックより、普段自動車を利用し、バスを利用していない方が行動意図を変更する確率10%を引用、各公共交通手段非利用者のうち今後は利用したいとする割合に10%を乗じて算定)を加算

公共交通の総合的な満足度の増加

目標とする指標	目標値[令和8年]	現状値[平成29年]
市民アンケートにおける公共交通総合満足度(満足+やや満足)	現状値より増加	17.0%

基本方針ごとの目標・目標値

基本方針Ⅰ	目標	利便性の高い公共交通ネットワークやサービスが充実
	目標値	公共交通を利用する割合の増加
基本方針Ⅱ	目標	公共交通の利用のしやすさ・わかりやすさが向上
	目標値	公共交通の情報・案内のわかりやすさに関する満足度の増加
基本方針Ⅲ	目標	公共交通への関心や愛着が向上
	目標値	地域主体または地域と交通事業者や可児市が連携・協働した取り組みの実施

5. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体

公共交通ネットワーク形成の方針

種別	路線名称	公共交通ネットワーク形成の方針
公共交通軸	<ul style="list-style-type: none"> J R 太多線 名鉄広見線 都市間高速バス 	<ul style="list-style-type: none"> J R 太多線および名鉄広見線を中心とした公共交通ネットワークを形成する。 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)は、主に高校生の通学を支えているほか、地域の生活を支える重要な社会インフラであるため、可児市、御嵩町及び八百津町の地域関係者と連携して各種利用促進施策を展開することで、存続を図る。 上記鉄道路線と機能を共有する高速バスは、名古屋都心へのアクセス利便性を維持する。
都市内基幹路線	<ul style="list-style-type: none"> さつきバス(中心循環線) Kバス 	<ul style="list-style-type: none"> さつきバス(中心循環線)は、まちづくりと整合を図るため、まちなかの主要施設(公共、商業、医療等施設)を連絡する現行サービスを維持しつつ、可児駅・新可児駅を中心とした運行見直しを図る。 Kバスは、市内に立地・分布する観光・レクリエーション需要等に対応するため、運行日の拡大や新たな観光ニーズに対応した運行サービスの拡大・見直しを図る。
広域支援路線	<ul style="list-style-type: none"> 東鉄バス(帷子線以外) Y A Oバス 美濃加茂市あい愛バス(古井駅-可児川駅線) 	<ul style="list-style-type: none"> 東鉄バス(帷子線以外)は、可児駅・新可児駅および市内主要施設と多治見市、八百津町を連絡する現行サービスの維持を図る。 ただし、利用者の少ない路線・区間が存在するため、今後の利用特性や利用動向の変化に注視し、適切な時期に関係者と路線見直しを協議・調整する。 東鉄バス八百津線は、可茂特別支援学校への通学手段としての現行サービスを維持しつつ、利用者の少ない加茂特別支援学校以北区間の利用増進に向け、八百津町と協議・調整の上各種利用促進施策を展開する。 東鉄バス緑ヶ丘線は、可児高校への通学手段としての現行サービスを維持しつつ、さつきバス桜ヶ丘線との時間的な補完関係を確保するため、料金抵抗を緩和する運行サービスを展開する。 東鉄バス桜ヶ丘線は、市内住宅団地と多治見駅へのアクセス利便性を維持する。 Y A Oバスは、八百津高校への通学手段としての現行サービスを維持しつつ、名鉄広見線活性化計画を踏まえ、八百津町および御嵩町と協議・調整の上、各種利用促進施策を展開する。 美濃加茂市あい愛バスは、可児川駅と古井駅駅間の都市間連携を強化する路線として美濃加茂市の運行に協力する。
地域支援路線	<ul style="list-style-type: none"> 東鉄バス(帷子線) さつきバス(中心循環線以外) 	<ul style="list-style-type: none"> 東鉄バス(帷子線)は、市内住宅団地と西可児駅のアクセス利便性を維持する。 さつきバス(中心循環線以外)は、一定量の需要が見込まれる地域において定時定路線型の現行サービスを維持しつつ、可児駅・新可児駅を中心とした運行見直しを図る。
	<ul style="list-style-type: none"> 電話で予約バス Kタク 	<ul style="list-style-type: none"> 電話で予約バスおよびKタクは、上記までの公共交通によるサービスが困難な地域または需要が少ない地域において、デマンド型の現行サービスを維持しつつ、各地域の生活圏に配慮した運行エリアの見直しを図る。
個別輸送	<ul style="list-style-type: none"> 一般タクシー 福祉有償運送等 ボランティア輸送 	<ul style="list-style-type: none"> 一般タクシーは上記公共交通を補完し、多様な個別移動需要に対応した現行サービスの維持を図る。 福祉有償運送等およびボランティア輸送は、各地域の特定利用者の移動需要と地域特性などに対応したサービスの確保を図る。
交通結節点	<ul style="list-style-type: none"> 可児駅・新可児駅 西可児駅 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通相互が連携する可児駅・新可児駅および西可児駅を交通結節点として位置づけ、待合環境や乗継環境の充実とともに、分かりやすい案内・情報の提供を図る。